

LHR 学習指導案

学校名 鹿児島県立古仁屋高等学校
実施日時 平成 27 年 11 月 10 日（火）6 限目
実施場所 体育館
対象 第 1 学年 1 組・2 組（計 44 名）
授業者 石川正史

1 主題

「2016年の抱負を書く」～2016年のカレンダーに筆で書く～

2 主題設定の理由

高校入学から9か月が経過し、高校生活にも慣れ、生徒一人一人が自分の将来像を描き2学年でのコース選択を決定したところである。そこで、将来を見据えこの1年を充実するために抱負を考えさせ、その思いを定着できるように2016年のカレンダーに毛筆で抱負を書かせたい。筆で文字を書くことに苦手意識をもっている生徒がいると思われるが、今回は作品の良し悪しではなく自分の思いを表現することを大切にしたい。

3 生徒観

生徒たちは元気があり明るい雰囲気である。半数は書道選択者であり普段の授業に積極的に取り組んでいる。それ以外の生徒も日々の授業に積極的に取り組んでいる。

4 本時の目標

- (1) 自分の思いを文字や文章にし、筆で表現する。
- (2) 文字を正確に整えて書くだけでなく、思いを伝えられるような文字表現をする。

5 本時の実際

過程	時間	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	10分	<ul style="list-style-type: none">挨拶，出席確認書く場所道具の確認本時の活動内容を確認する。作品計画シートと見本を受け取り，自分で考えた抱負を確認する。	<ul style="list-style-type: none">時間厳守5～6人のグループをつくらせる。筆・墨・硯・カレンダー用紙・半紙・文鎮を用意させる。文字表現は，正確に整えて書くだけでないこと・見本をまねることに終始しないことを理解させる。

展 開	7分	・配置を考え、文字の雰囲気を確認し半紙に練習する。	・配置や文字の雰囲気を予測してから書かせる。
	5分	・2～3枚練習した後、自分のイメージに近くなっているか、方向を変えたほうがよいか考える。	・試行錯誤させる。
	10分	・練習	・自分の課題を確認させて練習させる。
	10分	・清書する。	・清書させる。
	3分	・片づけ	
ま と め	5分	・グループ内で発表する。	・制作意図や感想を発表させる。

6 本時の評価

- (1) カレンダー制作に積極的に参加していたか。
- (2) 自分の思いを表現しようとしていたか。
- (3) 制作意図や感想を発表できたか。

7 準備するもの

- ・作品計画シート
- ・カレンダー（12か月分の日付が一枚に印刷されたもの）
- ・練習用紙
- ・筆
- ・墨
- ・硯
- ・下敷き
- ・ブルーシート
- ・書道選択者以外の印

〈研究授業を終えて〉

書道選択者以外の生徒の毛筆で文字を書く実力が分からないままで始めた授業であったが、書道部や書道選択者の助言をもらいながら、生徒は来年の抱負を自分のイメージを大切にしながら揮毫していた。

「上手に書くことより自分の思いが伝わるように書く」という本時の目標は達成できたが、予想以上に制作時間をとってしまい、グループ内での作品発表ができなかった。授業研究で「8人いる書道部がグループの班長となり、指導係となっていれば…」と助言をいただき、これを実践していれば作品発表も可能であった。今後の自身の授業展開でぜひ活用していきたい。

この授業に臨むにあたって、事前に作品計画プリントを配布し、それに近い見本作品の作成、書道選択者以外の生徒への印の作成、筆・墨・硯・紙・下敷・ブルーシートの準備等、また片付けに多くの時間を必要とした。その中で事前準備の大切さを再認識できた。

《事前配布資料》

カレンダー制作に挑戦！

1年（ ）組（ ）番 氏名（ ）

- 1 2016年が素晴らしい年になるように、一年の抱負や好きな言葉・文字を決める。
※体育祭（目標…青組優勝！）・文化祭・修学旅行、部活動や勉強面で充実した年にしよう。

- 2 レイアウトを考える。（縦書き ・ 横書き ）
※できれば、文字の雰囲気も考えてみよう。（楷書 ・ 行書 ）
（角張った字 ・ 丸みのある字 ）

2016

カレンダー部分（1～12月の日付）